

HiKOKI

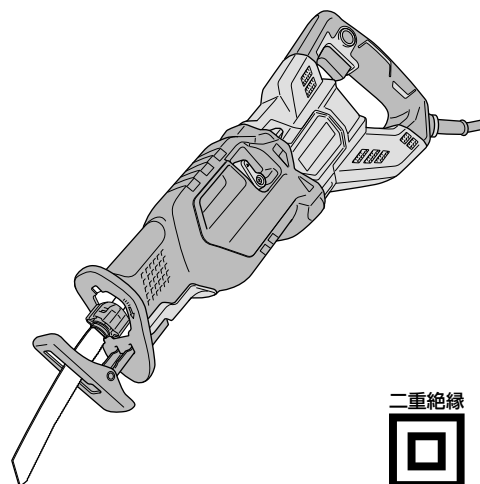
取扱説明書

電子セーバー CR 13VEY

用途

- パイプ、アングルの切断
- 各種木材の切断および窓抜き
- 軟鋼板、アルミ板などの切断
- ベークライト、塩化ビニールなどの各種合成樹脂の切断

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

電動工具の安全上のご注意	1
二重絶縁について	4
本製品の使用上のご注意	4
各部の名称	6
仕様	7
別売部品	8

使い方

ご使用前の準備と確認	12
スイッチについて	13
速度調整について	14
ストロークのモードについて	15
ベース位置の調整	16
フックの使い方	16
ブレードの取付け・取りはずし	17
切断する	19
窓抜き切断	21
作業上のご注意	24

その他

保守・点検	24
故障診断	26
ご修理のときは	裏表紙

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」、「⚠注意」、「注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。

⚠ 警告


- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**
騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⚠ 警告

- 15** 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- 16** 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- 17** 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- 18** 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- 19** 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- 20** 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- 21** 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- 22** 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に  マークで表示してあります。純正品以外の部品と交換したり、間違っって組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、電子セーバソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② **直流電源、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。**
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。
- ③ **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
埋設物があると、ブレードが触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ④ **使用中は、機体を確実に保持してください。**
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ⑤ **使用中は、ブレードや切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。
- ⑥ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑦ **誤って落としたり、ぶつけたときは、ブレードや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

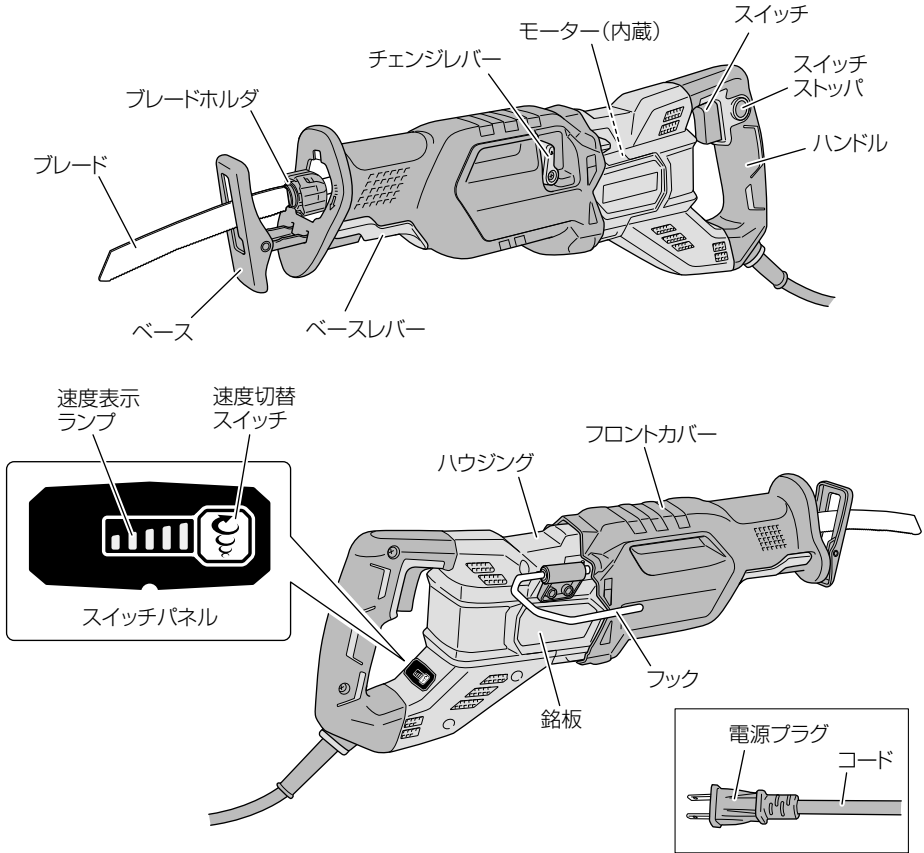
⚠️ 注意

- ① ブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用直後のブレードは高温になっているので、触れないでください。
やけどの原因になります。
- ③ ブレードでコードを切断しないように注意してください。
感電の恐れがあります。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
また、コードを引っ掛けたりしないでください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤ 機体の外枠にある風穴に異物を入れないでください。
モーターがロックし、故障の原因になります。
- ⑥ 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらさないでください。
誤作動等をおこす原因になります。
- ⑦ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。

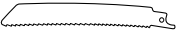
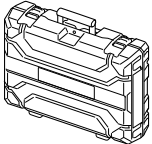
○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

各部の名称



標準付属品

品名 (形名)	形名	CR 13VEY
ブレード (No.141(S))		1本
収納ケース		1個

仕 様

形 名		CR 13VEY
使 用 電 源		単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V
能 力	パ イ プ	軟鋼パイプ 外径 130 mm 塩ビパイプ 外径 130 mm
	木 材	厚さ 120 mm
	軟 鋼 材	厚さ 19 mm
モ ー タ ー		ブラシレスモーター
全 負 荷 電 流		12 A
消 費 電 力		1,050 W
無負荷ストローク数		最低速：0～1,200 min ⁻¹ {回/分} 低 速：0～1,700 min ⁻¹ {回/分} 中 速：0～2,000 min ⁻¹ {回/分} 高 速：0～2,500 min ⁻¹ {回/分} 最高速：0～3,000 min ⁻¹ {回/分}
ス ト ロ ー ク 量		32 mm
寸 法 全長 × 高さ × 全幅		490 × 190 × 101 mm
質 量		3.9 kg (コードを除く)
コ ー ド		2心キャブタイヤコード 2.5 m

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください)


各種ブレード


作業の能率や仕上げを良くするには、加工物の材質や厚さに適したブレードを使うことが大切です。下の表を参照し、加工物に適したブレードをご使用ください。

- 注** ●表中に記載してあるブレードをご利用ください。表中以外のブレードも取付きますが推奨はできません。
- 表中の最大加工物寸法は、ベースの取付け位置をセーバソー本体に最も近い位置に取付けた場合の寸法です。ベースをセーバソー本体から遠ざけて取付けた場合は、最大加工物寸法が小さくなりますのでご注意ください。
 - 加工物の形状・厚さと、ブレード形状の組合せによっては切断中にロックすることがありますのでご注意ください。

【セーバソーブレード一覧】

湾曲タイプ

ブレード No.	切断目安 (mm)		山数 (インチ)	寸法 (mm)		鉄材						非鉄金属		合成樹脂		
	厚さ 	適用 管材		全長	刃厚	ステンレス材			軟鋼材			アルミ・ 黄銅・銅	塩ビなど			
						管材		板材	管材		板材		厚さ	管材		板材
						外径	厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ	厚さ		外径	厚さ	厚さ
No.246CW 金属解体用	6 以下	薄物・ 鋼材	14・18 コンビ ネーション	200	0.9	-	-	-	115 以下	2.5 ~6	2.5 ~9	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.247CW 金属解体用			14・18 コンビ ネーション	250	0.9	-	-	-	130 以下	2.5 ~6	2.5 ~9	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.141(S)	2 以上	ステン レス 管材 厚物・ 鋼材	14	150	0.9	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.141																
No.142(S)			14	200	0.9	115 以下	2.5 以下	2.5 以下	115 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.142																
No.143(S)			14	250	0.9	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	130 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.143																
No.145(S)	2 以下	ステン レス 管材 薄物・ 鋼材	18	150	0.9	60 以下	2.0 以下	2.0 以下	60 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.145																
No.146(S)			18	200	0.9	115 以下	2.0 以下	2.0 以下	115 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.146																
No.147(S)			18	250	0.9	130 以下	2.0 以下	2.0 以下	130 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.147																
No.148	スパイラルダクト等の 薄物切断用		24	250	0.9	130 以下	2.0 以下	2.0 以下	130 以下	3.5 以下	3.5 以下	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	

ブレード No.	切断目安 (mm)		山数 (インチ)	寸法 (mm)		鉄材						非鉄金属	合成樹脂			
	厚さ 	適用 管材		全長	刃厚	ステンレス材			軟鋼材			アルミ・ 黄銅・銅	塩ビなど			
						管材	板材	管材	板材	厚さ	管材		板材	厚さ	管材	板材
						外径	厚さ	厚さ	外径							
No.152	↑ 3 以上	極厚・ ステンレス 管材 【重作業用】	14	200	1.3	115 以下	3.0 以下	3.0 以下	115 以下	2.5 ~6	3.2 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.152C			9~12 コピ ネーション	200	1.3	115 以下	3.0 以下	4.0 以下	115 以下	3.0 ~9	3.2 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.153			14	250	1.3	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	130 以下	2.5 ~6	3.2 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.154			14	300	1.3	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	175 以下	2.5 ~6	3.2 ~19	5 ~20	175 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.252CW			10~14 コピ ネーション	200	1.3	115 以下	3.0 以下	4.0 以下	115 以下	3.0 ~7	3.2 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.253CW			10~14 コピ ネーション	250	1.3	130 以下	3.0 以下	4.0 以下	130 以下	3.0 ~7	3.2 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.254CW			10~14 コピ ネーション	300	1.3	130 以下	3.0 以下	4.0 以下	175 以下	3.0 ~7	3.2 ~19	5 ~20	175 以下	2.2 ~15	10 ~60	

湾曲タイプ

〈木材用・ALC用・リフォーム作業用〉


ブレード No.	用途	山数 (インチ)	寸法 (mm)		木材	ALC	鉄材						非鉄金属	合成樹脂			
			全長	刃厚			ステンレス材			軟鋼材			アルミ・ 黄銅・銅	塩ビなど			
							管材	板材	管材	板材	厚さ	管材		板材	厚さ	管材	板材
							外径	厚さ	厚さ	外径							
No.157	ALC用	8	200	1.3	-	110 以下	110 以下	3.0 以下	3.0 以下	110 以下	3 ~6	-	-	-	-	-	
No.155	【スス入りも 切断可能】	8	300	1.3	-	150 以下	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	175 以下	3 ~6	-	-	-	-	-	
No.158	木工用 リフォーム用	8	200	1.3	110 以下	-	110 以下	3.0 以下	3.0 以下	110 以下	3 ~6	-	-	-	-	-	
No.156	【釘入りも 切断可能】	8	300	1.3	150 以下	-	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	175 以下	3 ~6	-	-	-	-	-	
江戸目 (細目)	木工用	15	200	アサリ 1.3	110 以下	-	-	-	-	-	-	-	110 以下	2.2 ~15	10 ~60		
竹の切断にも最適		15	280	アサリ 1.3	150 以下	-	-	-	-	-	-	-	150 以下	2.2 ~15	10 ~60		
江戸目 (荒目)	木工用	10	200	アサリ 1.3	110 以下	-	-	-	-	-	-	-	110 以下	2.2 ~15	10 ~60		
竹の切断にも最適		10	280	アサリ 1.3	150 以下	-	-	-	-	-	-	-	150 以下	2.2 ~15	10 ~60		

湾曲タイプ





〈ブロック・煉瓦・FRP・コンクリート二次製品用〉

ブレード No.	刃先材質	寸法 (mm)	
		全長	刃厚
No.243D	ダイヤモンド	250	1.4

ストレートタイプ

ブレード No.	切断目安 (mm)		山数 (インチ)	寸法 (mm)		鉄材						非鉄金属	合成樹脂				
	厚さ 	適用 管材		全長	刃厚	ステンレス材			軟鋼材			アルミ・ 黄銅・銅	塩ビなど				
						管材		板材	管材		板材		厚さ	管材		厚さ	厚さ
						外径	厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ			外径	厚さ		
No.111	↑	極厚・ ステンレス 管材	8~10 コンビネーション	150	1.1	60 以下	3.0 以下	3.0 以下	60 以下	4.0 ~10	3.0 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.112			8~10 コンビネーション	225	1.1	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	130 以下	4.0 ~10	3.0 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.113			8~10 コンビネーション	300	1.1	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	175 以下	4.0 ~10	3.0 ~19	5 ~20	175 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.101		厚物・ ステンレス 管材	10	150	0.9	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.102			10	228	0.9	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	130 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.103			14	150	0.9	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.104			14	228	0.9	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	130 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.114			14~18 コンビネーション	150	1.1	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	2.5 ~8	2.5 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.115			14~18 コンビネーション	225	1.1	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	130 以下	2.5 ~8	2.5 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.116			14~18 コンビネーション	300	1.1	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	175 以下	2.5 ~8	2.5 ~19	5 ~20	175 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.109	2 以下		↓	ステン レス 管材	薄物・ ステン レス 管材	18	150	0.9	60 以下	2.0 以下	2.0 以下	60 以下	2.0 ~6	2.0 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15
No.110		18				228	0.9	130 以下	2.0 以下	2.0 以下	130 以下	2.0 ~6	2.0 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.107	スパイラルダクト等の 薄物切断用	24	150	0.9	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	3.5 以下	3.5 以下	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60			
No.108		24	228	0.9	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	130 以下	3.5 以下	3.5 以下	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60			

ストレートタイプ (木材用・ALC用・リフォーム作業用)

ブレード No.	用途	山数 (インチ)	寸法 (mm)		木材 厚さ 	ALC 厚さ 	鉄材						非鉄金属 アルミ・ 黄銅・銅 厚さ 	合成樹脂 塩ビなど		
			全長	刃厚			ステンレス材		軟鋼材		アルミ・ 黄銅・銅 厚さ 	塩ビなど				
							管材	板材	管材	板材		管材		板材		
							外径	厚さ	厚さ	外径		厚さ		厚さ	外径	厚さ
No.121	木工・ ALC用	6	305	1.3	120 以下	130 以下	-	-	-	-	-	-	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.132	リフォーム 用	6~ 11	203	1.3	110 以下	-	110 以下	2.5 以下	2.5 以下	110 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	110 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.131	リフォーム 用	10~ 14	305	0.9	-	130 以下	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	175 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	175 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.5	木工用	9	120	0.9	50 以下	-	-	-	-	-	-	-	-	40 以下	2.2 ~5	5 ~30
No.4	木工用	3	160	0.9	50 ~100	-	-	-	-	-	-	-	-	80 以下	2.2 ~10	10 ~60

ご使用前の準備と確認

●漏電しゃ断器の設置

本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

●延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さの、できるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さと、最大の長さです。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

警告

延長コードは損傷のないものを用意してください。

コードの太さ (mm ²) (導体公称断面積)	最大の長さ (m)
1.25	15
2	25
3.5	45

●使用電源の確認

- **必ず銘板に表示してある電源で使用してください。**
表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破壊する恐れがあります。
- **直流電源、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。**
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

●コンセントの確認

電源プラグがガタついたり、抜けやすいコンセントは修理が必要です。

修理には電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店などにご相談ください。修理せずにそのまま使用すると、過熱して事故の原因になります。

スイッチについて

⚠ 警告

- 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
スイッチが入っているのを知らずに電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
不意な始動により、思わぬけがの原因になります。

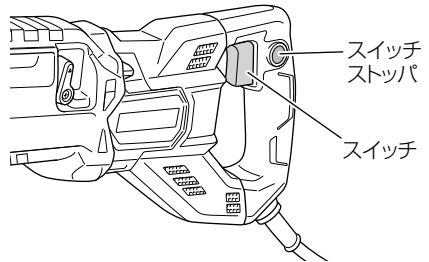
スイッチは引くと入り、はなすと切れません。スイッチを引き、指をはなしたときスイッチが戻ることを必ず確認してください。

スイッチの引込み量で無段階にストローク数が変わります。

スイッチを大きく引くと、ストローク数が上がります。

切断を開始するときは、正確に切込むためストローク数を下げ、十分な切込みが得られてからストローク数を上げて（スイッチの引込み量を大）切断すると、ねらった位置に合わせやすくなります。

また、スイッチをはなすとブレーキがかかり、すぐに止まります。



スイッチストッパについて

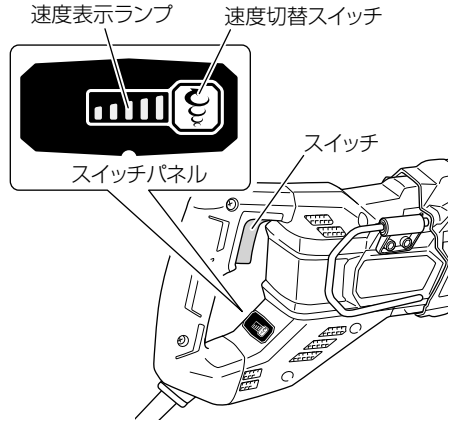
スイッチを引いてからスイッチストッパを押すと、スイッチをはなしても固定され連続運転になります。

停止させるときは、もう一度スイッチを引いてからはなしますと連続運転が解除されます。

速度調整について

最大ストローク数を速度切替スイッチで選択できます。

電源プラグをコンセントにさし込み、速度切替スイッチを押すとスイッチを押すごとに最大ストローク数を最低速・低速・中速・高速・最高速の5段階に調整できます。



速度	最低速	低速	中速	高速	最高速
スイッチパネル表示					
ストローク数	0 ~ 1,200 min ⁻¹	0 ~ 1,700 min ⁻¹	0 ~ 2,000 min ⁻¹	0 ~ 2,500 min ⁻¹	0 ~ 3,000 min ⁻¹
被削材	ステンレス プラスチック ファイバー板	鉄パイプ 鋳鉄管 L形アングル アルミ 黄銅・銅		ALC 石こうボード 木材	

ストロークのモードについて

本機は、ブレードのストロークが前後に運動するストレートモードと、前後運動と同時に上下運動するオービタルモードを備えています。

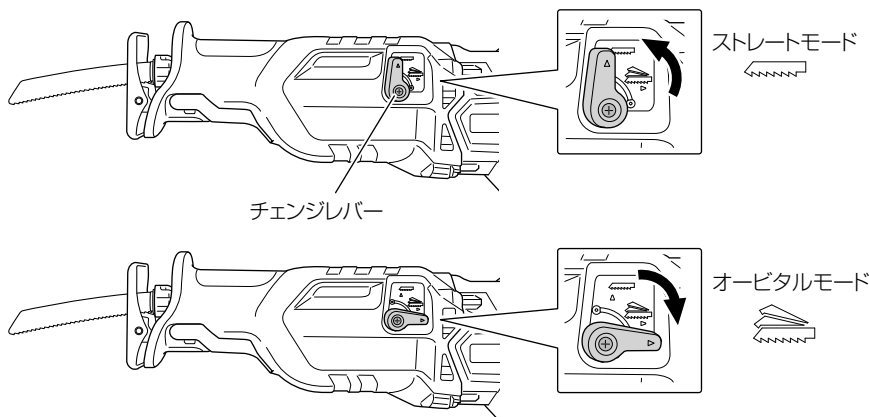
オービタルモードでは、特に木材などの軟質材において、材料への食い込みおよび切粉の排出が良くなり、切断作業がスムーズになります。

チェンジレバーで用途に応じたモードを選択してください。

適切なモードは切断する材料の硬さ、切断面の仕上り程度、その他の要因によって左右されるため、あくまでも目安としてご利用ください。

モード	ストレート	オービタル
運動軌跡	前後運動	前後運動 + 上下運動
材料の硬さ	硬質材 ←—————→ 軟質材	
切断速度	ゆっくりでも良い ←—————→ 速く切りたい	
仕上り程度	きれいに仕上げたい ←—————→ 粗くても良い	

- 注**
- 軟質材でも、きれいに切断したい場合は、ストレートモードを選択してください。
 - チェンジレバー部にごみやほこりが溜まると、チェンジレバーの動きが悪くなる場合がありますので、チェンジレバー部をときどき掃除してください。



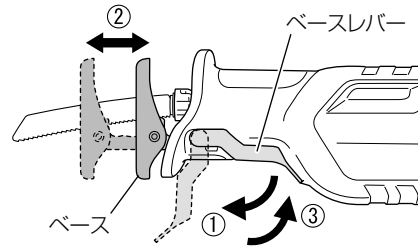
ベース位置の調整

ベースの取付け位置を調節できます。切断材料の大きさに合わせ、ベースの前後位置を調節してください。

- 1 ベースレバーを右図のようにゆるめます。
- 2 ベースの取付け位置を調整します。
- 3 ベースレバーを戻し、ベースを固定します。

警告

ベース位置の調整の際は、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

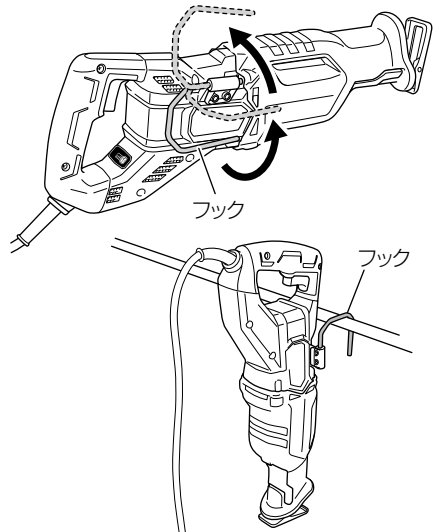


フックの使い方

警告

- フックを使用するときは、必ずスイッチを切り、ブレードを取りはずして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- このフックは人体への吊下げ用ではありません。
ベルトやズボンなど人体への吊下げはしないでください。
- 高所ではフックを使用しないでください。
本体が落下するなど、思わぬ事故の原因になります。
- フックを使用するとき、本体がすべり落ちたり、風などで不安定にならないことを確認してください。

フックを矢印方向に開いて使用します。使用しないときは、本体側に収納して、作業の妨げにならないようにしてください。



ブレードの取付け・取りはずし

⚠ 警告

- ブレードの取付け・取りはずしの際は、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ブレードを引っ張るときは、ブレードの背面を引っ張ってください。刃のついている部分を引っ張ると、けがの原因になります。

⚠ 注意

- ブレードは、切粉を良くふき取り、確実に取付けてください。ブレードがはずれ、けがの原因になります。
- ブレードを交換するときには、切粉などがブレードさし込み口に溜まらないように掃除してください。

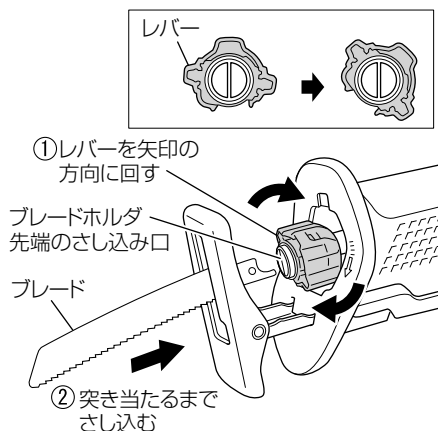
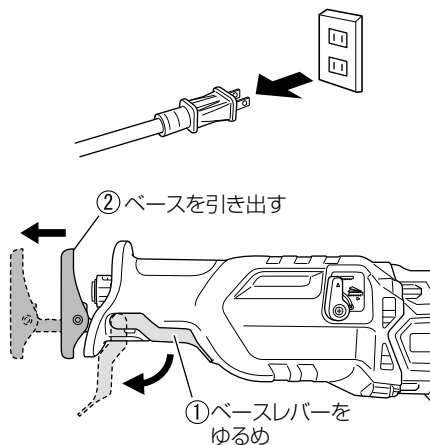
ツールレス着脱機構を搭載していますので、スパナやレンチなどの工具を使用しないでブレードの取付け・取りはずしができます。

取付け方

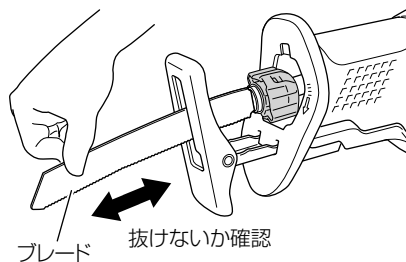
1 電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 作業しやすいように、ベースレバーをゆるめ、ベースを引き出します。

3 レバーを矢印の方向に回しながら、ブレードをブレードホルダ先端のさし込み口から、突き当たるまでさし込みます。



- 4** レバーから指をはなすと、さし込み口が自動的に元の位置に戻り、ブレードが固定されます。ブレードを軽く引き、抜けないことを確認してください。



取りはずし方

取付けたときと同様に、レバーを矢印の方向に回転させ、ブレードを下に向けて、自然落下させます。

自然落下しない場合には、刃先に注意しながらブレードの背面を指で引っ張って取りはずしてください。

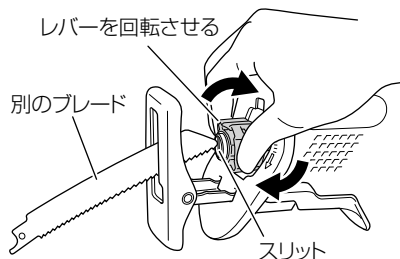
⚠️ 注意

使用直後のブレード、ブレードホルダは、高温になっているので触れないでください。
やけどの原因になります。

ブレードが折れた場合

ブレードが折れて自然落下しない場合には、次のように取りはずしてください。

- **折れたブレードの一部がスリットから飛び出している場合：**
飛び出した部分を指で引っ張って取りはずします。
- **折れたブレードがスリットの内部にかくれてしまった場合：**
別のブレードの先端部分を使って、折れたブレードを引っ掛けて取りはずします。



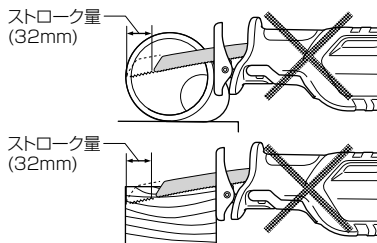
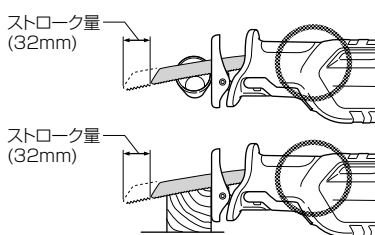
切断する

- パイプ、アングル
- 軟鋼板、アルミ板など
- ベークライト、塩化ビニールなどの各種合成樹脂
- 各種木材

警告

- 万一の事故を防止するため、②、③ではスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- フロントカバーをはずさないでください。フロントカバーの上から工具本体を保持してください。
- 作業中断時や作業後は、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ブレードは、図に示すようにブレードの突き出し量が最小のとき、切断材料より十分出るように選んでください。

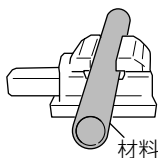
ブレードの切断能力以上の太いパイプや大きい木材などを切断すると、ブレード先端がパイプ内壁または木材に当たってブレードを折損する恐れがあります。



1

切断材料を固定する

クランプや万力などに、切断材料がしっかり固定されているかをご確認ください。

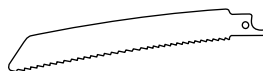


2

ブレードを取付ける

切断材料の材質・厚さ・大きさに適したブレード(種類・長さ)をご使用ください。

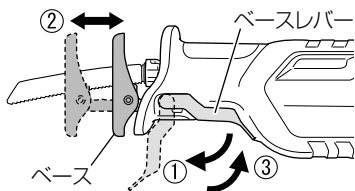
(P.17「ブレードの取付け・取りはずし」参照)



3

ベース位置を調整する

切断材料の大きさに合わせ、ベースの前後位置を調整します。
(P.16「ベース位置の調整」参照)



⚠注意

- 作業中はベースを切断材料にしっかり押し当てて切断してください。しっかり押し当てないと振動により、ブレードを損傷することがあります。
- 切断時は、無理な力を加えないでください。ブレードを折損する恐れがあります。
- 小さな円弧に切断する場合は、送り速さを遅くしてください。無理に速く送ると、ブレードを折損する恐れがあります。

4

電源プラグをコンセントにさし込む

5

速度調整・ストロークのモードを設定する

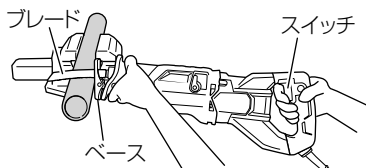
作業に応じて設定してください。
(P.14「速度調整について」、
P.15「ストロークのモードについて」参照)



6

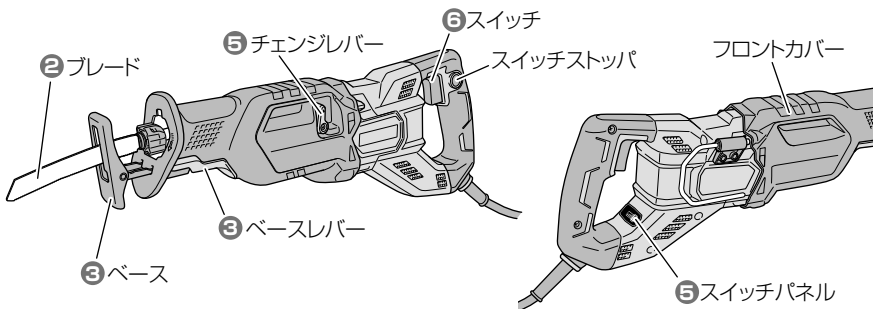
切断する

- 切断箇所にブレード位置を合わせてベースを切断材料に押し当て、スイッチを引きます。
- 金属切断時には、ブレードの寿命が短くなりますので、切削油(タービン油など)を使用してください。



注 スwitchを引ながらの状態では、設定の切替えはできません。

注 切粉などがブレード取付け部周辺の凹部にたまるときには、その都度、清掃しながら作業してください。



窓抜き切断

●木製の合板パネルや薄板木材の窓抜き

警告

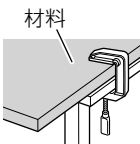
- 万一の事故を防止するため、②、③ではスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 金属材料の窓抜きはしないでください。
ブレードを折損する恐れがあります。
- ブレードの先端を材料に押し当てた状態で、スイッチを引かないでください。
ブレード先端が材料に勢い良く当たって、ブレードを折損する恐れがあります。
- 必ず機体をしっかり保持して、ゆっくりと作業してください。
無理な力を与えると、ブレードを折損する恐れがあります。

木製の合板パネルや、薄板木材の窓抜き切断ができます。

1

切断材料を固定する

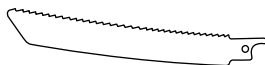
クランプなどで、切断材料がしっかり固定されているかをご確認ください。



2

ブレードを取付ける

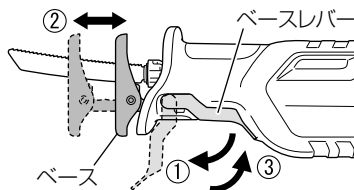
- できるだけ短くて、厚いブレードをご使用ください。
(P.8～11「別売部品」参照)
- ブレードを上下逆向きに取り付けると、開始穴があげやすくなります。
(P.17「ブレードの取付け・取りはずし」参照)



3

ベース位置を調整する

ベースを本体に一番近い位置にします。
(P.16「ベース位置の調整」参照)



4

電源プラグをコンセントにさし込む

5 速度調整する

作業に応じて設定してください。
(P.14「速度調整について」参照)

速度表示ランプ 速度切替スイッチ

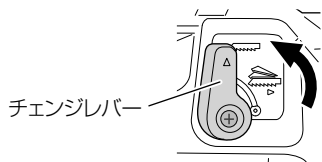


7 窓抜き切断をする

P.23「窓抜きのコツ」を参照してください。

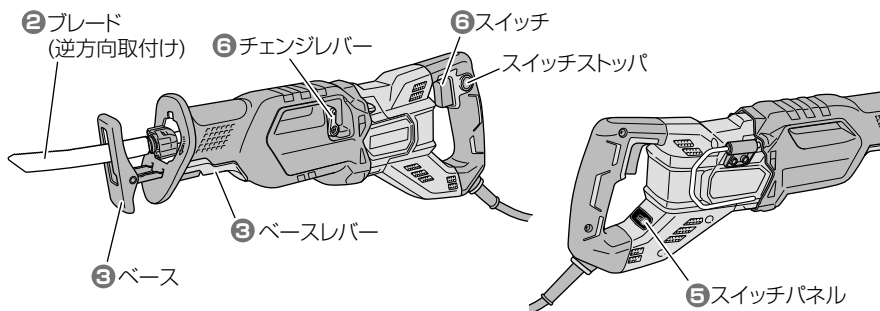
6 ストレートモードに設定する

P.15「ストロークのモードについて」
を参照してください。



チェンジレバー

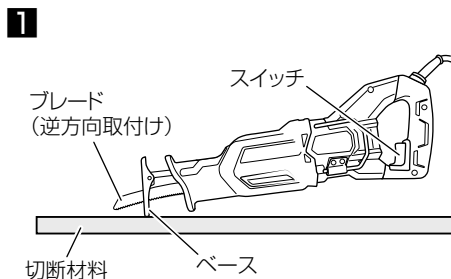
注 スイッチを引ながらの状態、モードの切替えはできません。



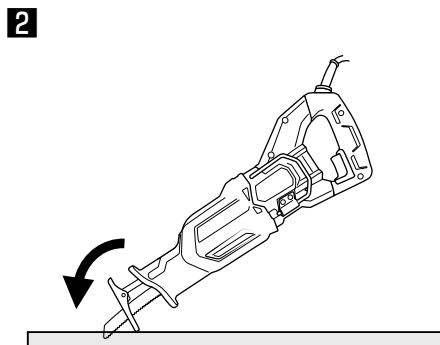
●窓抜きのコツ

ブレードを逆方向に取付けると、機体をより寝せた状態で切り込みを開始できるため(下図 1 参照)スムーズに窓抜きの開始穴をあけることができます。

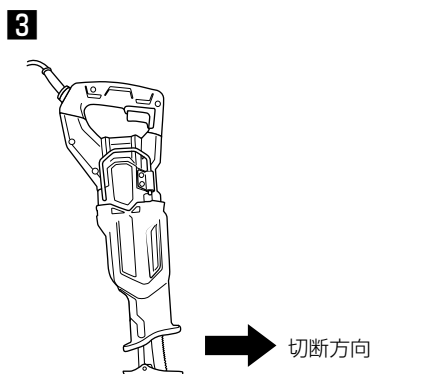
- 1 材料にベースを押し当て、ブレードの先端を材料からはなした状態で、スイッチを引きます。



- 2 スイッチを軽く引き、スピードがゆっくりな状態で少しずつ穴をあけます。



- 3 スイッチをいっぱい引き、少しずつ進めます。



作業上のご注意

● 連続作業について

本機はモーターおよびモーターの駆動制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。

連続的に作業を行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。その際は機体を十分に冷却してください。

温度が下がれば再び使用することができます。

● 変速スイッチについて

スイッチにはストローク数を無段階に変速する電子回路が内蔵されています。

従ってスイッチの引き込み量が少ない状態（低速回転域）で、モーターを停止させる作業を連続的に行うと電子回路部品の温度が高くなり、故障の原因になります。

● 機体の保持と押しつけ力について

機体は両手で確実に保持してください。また、機体は必要以上に押しつける必要はありません。

機体をこじる力や押しつける力が過度にかけると、機体の故障の原因になりますのでご注意ください。

保守・点検

⚠ 警告

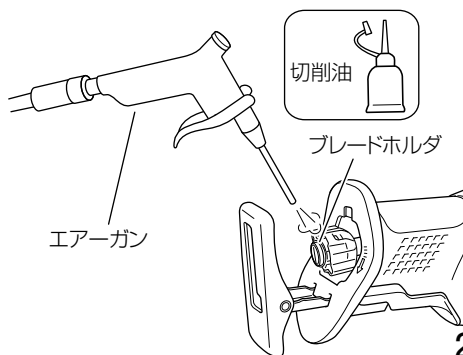
- 保守・点検の際は、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- エアーガンなどを用いて清掃する際には、保護メガネと防じんマスクを使用してください。
飛ばされた切粉を吸い込んだり、目に入る可能性があります。

● ブレード取付け部の清掃・注油

ブレード取付け部をいつも円滑に動かすため、ご使用後は、切粉・土・砂・水分などをエアーで吹き飛ばすか、ブラシなどで清掃してください。

ブレードホルダ周辺部に切削油などを定期的に注油してください

注 ブレード取付け部周辺の凹部に切粉などを付着したままにしておくと、ブレードホルダ周辺部がさびついて機体内部の故障の原因になります。



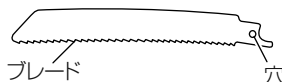
● ブレードの点検

切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。早めに新品と交換してください。

⚠ 注意

穴部が摩耗したブレードを使用しないでください。

作業中にはずれると、けがの原因になります。



● モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.6「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させてください。モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

● 製品や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

注

- お子様の手が届いたり、持ち出せる場所
- 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
- 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

状 況	原 因	対 策
突然止まった	過負荷になった	大きな負荷を与えた原因を解消してください。 作業時の押しつけ力を弱めてください。
	本体が過熱状態になった	本体を十分冷ましてください。
先端工具が 取付かない 抜ける 抜けない	取付け部形状が合わない	適切なブレードを使用してください (「別売部品」参照)
	レバーが開いている	エアーガンで掃除して下さい。
	ブレードの取付け穴が破損している	新しいブレードに交換して下さい。
	ブレードホルダ内に異物が入っている	異物を取り除いてください。
ブレードがすぐ消耗する	ストローク数が速い モードが適切ではない	モードを現在より低いモードに切替えてください。 (ステンレス管切断時は、低速に切替えてください。) (「速度調整について」参照)
	金属切断時に切削油を使用していない	切削油(タービン油など)を使用してください。
	作業時の押しつけ力が強すぎる	作業時の押しつけ力を弱めてください。
切断が上手に出来ない	加工物の材質や厚さに適したブレードを使用していない	適切なブレードを使用してください。 (「別売部品」参照)
	切断材料の長さに対して、ブレードが短い	
	加工物の材質や厚さに適した速度調整になっていない	適切な速度調整に設定してください。 (「速度調整について」参照)
	ブレードの摩耗・劣化・破損	新しいブレードに交換してください。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>